

令和6年度 児童朝会 (講話82)

令和6年9月9日【ねこ 3】

おはようございます。

今朝、学校に来ますと、校長室前の熱帯魚の水槽が荒らされていました。エアポンプが抜かれているので、お魚が何匹か酸欠になっていました。どうもネコに荒らされたようです。こんな中でネコの話の続きをするのも何ですが…。

先週のお題。どうしてネコ科はこれほど多くの種類にわかれただけでしょうか？

結構難しかったようで、あまり回答がありませんでした。では、改めて周りの人と聞き合ってみてください。現段階で困っている人はいませんか？3分の1ぐらいの人が悩んでいるようですね。では、これから一緒に考えていきましょう。

またまた画像問題からスタートです。隠れている動物は何かな。だんだんと詳しくなっていきますので、わかった段階で答えてください。どうですか。そう、これはトラですね。ではもう一問。だんだんピントが合ってきますよ。こちらもトラですね。

トラのしま模様は大変目立ちます。これでは、ねらった獲物にばれてしまいそうですが…。でも、いまの画像問題で見てきましたように、トラのしま模様は林の中で身を隠すのにとても役に立っているのです。ライオンの色は、どうでしょう？そう、草原で身を隠すのに役になっているのです。

トラは林に住み、ライオンは草原に

住む。住む場所が違うと、体の色が変わってくるのです。

では、チーターはなぜ足が速くなつたのでしょうか？周りの人と聞き合ってみてください。

チーターはライオンと同じ草原に住みます。でも、ライオンには体の大きさで勝てません。チームワークでも勝てません。そこで、チーターは足を速くして、ライオンより先に獲物を捕まえようとしたのです。

トラと同じ林に住むヒョウも、大きさではトラに負けます。そこで、木の上に住み、賢くなつていったと考えられています。住む場所の違い、もし同じ場所に住んでいても、戦い方を変えることで、色々な種類に分かれていったのです。違いはそれであっても、どれが一番強いとか、弱いとかではなく、それぞれの地域の特徴に応じて暮らす、全部良い大型ネコなのです。

どうやって種類がわかれていったのは、少しほは見えってきたかと思いますが、次にこんな疑問が出ませんか？ここにいるのは、全部日本のイエネコですが、色や顔が全部違います。同じ日本に住んでいるのに、なぜみんな変わるのでしょうか？



ヒントとして、校長先生の家のネコの話を少しあげます。校長先生の家では、今までに、いぬ2匹、ねこ7匹を飼っていました。実は、この中で、同じ日に産まれた4つ子がいるのですが、どれとどれが4つ子かわかりますか？

こうかなあ？と考えた人は校長室前のボードに書きにきてください。今日も最後まで静かに聞いていただきありがとうございました。